

高校生訪韓団（第1～2団） 派遣事業の記録

1. プログラム概要

【目的】日本全国から選抜された発信力を有する高校生等 70 名を韓国に派遣し、各種視察、学校訪問等を通じた同世代との交流、講義聴講等を通じて、韓国の社会や文化に対する理解を深め、日本の魅力を広く積極的に発信することにより、今後の日韓間における相互理解の促進や信頼関係増進の基盤強化に寄与することを主目的とする。

【参加者】 プレプログラム（オンラインによる事前学習） 日本の高校生等 70 名
派遣プログラム 日本の高校生等 70 名

【訪問地】 派遣プログラム ソウル特別市、京畿道、忠清北道 70 名

【日程】

■ プレプログラム（オンライン事前学習）：

10月21日（土） オリエンテーション（プログラム説明）

■ 派遣プログラム：

11月5日（日） 仁川国際空港より入国、オリエンテーション

11月6日（月）【講義】①韓国と日本の言語と文化的違い、②日韓関係 2000 年和解の道から、③戦後の日韓経済関係、【表敬】①韓国国立国際教育院、②京畿道九里市役所、【講義】④韓国と日本の経済協力

11月7日（火）【学校訪問・交流】城南外国語高等学校（第1団）、清明高等学校（第2団）、【視察】①明洞エリア、②ワールド K-POP センター

11月8日（水）【視察】①非武装地帯（DMZ）キャンプグリーブス、②韓国国立民俗博物館、③仁寺洞エリア

11月9日（木） 忠清北道へ移動、【企業訪問】プルムウォン、【学校訪問】高麗大学校、【交流】訪韓団 OB との対話

11月10日（金）【企業訪問】LGサイエンスパーク、【視察】①汝矣島エリア、②国会議事堂、成果報告会

11月11日（土） 仁川国際空港より出国

2. 記録写真



2023年11月6日【講義】日韓関係2000年和解の道から



2023年11月6日【表敬】京畿道九里市役所



2023年11月7日【学校訪問・交流】城南外国語高等学校（第1団）



2023年11月7日【学校訪問・交流】清明高等学校（第2団）



2023年11月8日【視察】非武装地帯（DMZ）キャンプグリーブス



2023年11月9日【企業訪問】プルムウォン



2023年11月9日【交流】訪韓団OBとの対話



2023年11月10日【視察】国会議事堂

3. 参加者の感想（抜粋）

◆ 日本 高校生

学生や子供は政治的なしがらみなど関係なく短い時間でも打ち明けることができます。ネットや人々の偏見を通して伝わってくる「韓国人」と実際に見た「韓国人」は全く違いました。伝わってくる情報だけでは、日韓問題のこともあり正直あまりいいイメージを持っていませんでしたが、講義や対面で話したことで、そのイメージは 180 度変わり韓国のことが好きになりました。言語や文化などの違いもありますが、そういったことは関係なく“相手を知りたい”という気持ちがあれば打ち解けられるということ伝えていきたいです。

◆ 日本 高校生

今回の訪韓では、実際に行ってみないと知るこのできないことが多くありました。特に学校訪問では、これまで体験することのなかった海外の同世代の子との交流を通じて、日韓の価値観の差について考えを深めることができました。また、現地の生徒と慣れないながらもコミュニケーションを取ることができ、貴重な経験となりました。

◆ 日本 高校生

今回の訪韓及び様々な機会を通じて、日本と韓国の関係を韓国側の人から聞いたことが良かったです。今までは日本人からしか韓国との関係について説明されたことしかなく、初めての体験でした。韓国側の人だからこそ気づけること、感じたことなどすべてが日本人と違います。また、講義を通じて、日韓が協力し合うことで大きな利益を得ることが出来るという考え方等、改めて韓国と日本の共通点や相違点等を知ることができました。また各視察を通じて、現在の韓国の発展を直接感じられる良い機会になりました。

◆ 日本 高校生

韓国の高校を訪問して、バディと交流できたことが一番印象に残っています。韓国人の高校生と知り合う機会はなかなか無いのでとても良い体験になりました。訪韓団で出会えた韓国の友人と交流を深め、お互いの文化を知り合っていければと思います。また、訪韓日程中、ずっと同行してくれた大学生との交流で、毎日韓国語をはじめ、韓国の様々なことを楽しく会話しながら、たくさん学べたことも良かったです。

4. 受入れ側の感想（抜粋）

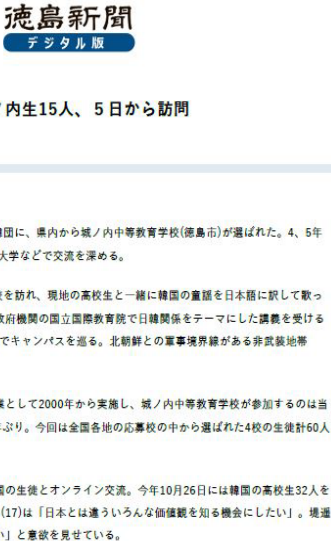

◆ 訪問校担当者

新型コロナウイルス感染症の拡大により、両国を往来する交流事業が長く止まっておりましたが、当校が交流再開の場所となるということで期待と不安で胸がいっぱいでした。しかし訪問して下さった学生の皆さんや先生方の楽しまれている顔を拝見し、文化の違いや言語の壁は交流を妨げる大きな要因とはなりません。両国の学生たちが肩を組んで歩く姿や、キムパプ作りを幸せそうに行っている姿は、国境の壁を越え共に歩いていく仲間そのものでした。このような貴重な時間及び機会をいただけたことに感謝いたします。

◆ 交流相手（訪韓団 OB）

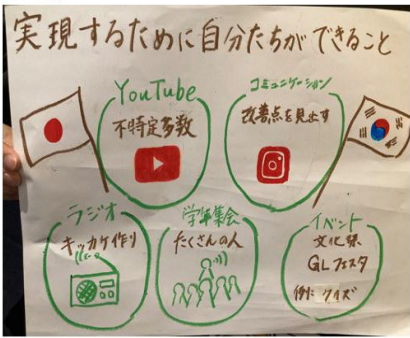
拙い発表であったにも拘わらず、参加者の皆さんが真摯に耳を傾けて下さり、発表者の立場として非常に嬉しかったです。「ご縁」の大切さを強調する講義内容だったのですが、プログラム終了後、拙講義を通して学んだそれを早速実践しようと個別的にメッセージを送ってくれた生徒さんも数名いらっしゃいました。自分の志向する目標に対する確固たる意志を持った生徒さんが多く、逆に私が激励された次第です。演台に上がっての講義はどうしても聴講者との物理的・精神的距離感が生じてしまうので、次回はいくらか対等な立場での交流時間が増やせたらと思いました。

5. 参加者の対外発信（抜粋）、報道記事等

 <p>徳島新聞 デジタル版</p> <p>日韓文化交流に意欲 城ノ内生15人、5日から訪問</p> <p>2023/11/04 05:00</p> <p>日韓文化交流基金(東京)の高校生訪韓団に、県内から城ノ内中等教育学校(徳島市)が選ばれた。4、5年生15人が5日から7日間、韓国の高校や大学などで交流を深める。</p> <p>生徒は城南(ソナム)外国語高等学校を訪れ、現地の高校生と一緒に韓国の童謡を日本語に訳して歌ったり、徳島の特色を発表したりする。政府機関の国立国際教育院で日韓関係をテーマにした講義を受けるほか、高麗大学校では訪韓団OBの案内でキャンパスを巡る。北朝鮮との軍事境界線がある非武装地帯(DMZ)も見学する。</p> <p>中学生を対象とした訪韓は政府の事業として2000年から実施し、城ノ内中等教育学校が参加するのは当時の城ノ内中が16年に選ばれて以来7年ぶり。今回は全国各地の応募校の中から選ばれた4校の生徒計60人が訪れる。</p> <p>城ノ内では昨年、同基金の事業で韓国の生徒とオンライン交流。今年10月26日には韓国の高校生32人を受け入れた。城ノ内5年の中瀬農司さん(17)は「日本とは違ういろんな価値観を知る機会にしたい」。境運菜さん(16)は「韓国の友人をつくりたい」と意欲を見せている。</p>	 <p>4つの講義を聞き、九軍行を訪問しました。</p> <p>経済の講義では、韓国の視点から日本と韓国の経済の比較を歴史と組み合わせ韓国と日本の出会いから軸にお話して頂きました。普段とは違う視点から日本を見ることで今の経済がどのような状況なのかより明確に知ることが出来ました。印象に残ったことは、歴史的に韓国より先に発展を遂げた日本であるけれど、現在は韓国よりも経済的に劣っている部分があり、また、それぞれに補わなければならない点があります。両国の協力が成り立つことで得られる利益は大きく、経済的に大きな発展が見込めるということが印象に残りました。</p>
<p>2023年11月4日（徳島新聞デジタル）</p> <p>日韓文化交流基金の高校生訪韓団に、県内から城ノ内中等教育学校が選ばれた。生徒は城南外国語高等学校を訪れ、現地の高校生と一緒に韓国の童謡を日本語に訳して歌ったり、徳島の特色を発表したりする。政府機関の国立国際教育院で日韓関係をテーマにした講義を受けるほか、高麗大学校では訪韓団OBの案内でキャンパスを巡る。北朝鮮との軍事境界線（DMZ）も見学する。</p>	<p>2023年11月6日（Instagram）</p> <p>4つの講義を聞きました。経済の講義では韓国の視点から日韓の経済比較を歴史と組み合わせた話を伺いました。普段とは違う視点から日本を見ることで、今の経済がどのような状況なのかより明確に知ることができました。日本は韓国より先に発展をしましたが現在では韓国よりも劣っている部分もあり、お互いに補わなければならない点があり、両国の協力することで得られる利益は大きく、経済的に大きな発展が見込めるということが印象に残りました。</p>

 <p>♡ 👤 📌 ... 📌</p> <p>いいね!</p> <p>Day 3 11/7</p> <p>今日は城南外国語高等学校へ行きました。韓国の高校生と交流してとても楽しかったです。日本のことや韓国のことなど様々な話をでき、日本に興味を持ってきている人が多いと感じました。韓国の給食も体験し、普通ではできない体験をすることができました。別れがとても寂しかったです。連絡も交換し、今後もコミュニケーションを取りたいです。日本に来てもらい、交流を続けたいです。明洞散</p>	 <p>♡ 👤 📌 ... 📌</p> <p>11/5부터 11/11까지의 방한에서 다양한 것을 체험할 수 있었습니다. 그리고 많은 사람들과의 협력에 의해 살아난 장면도 있었습니다. 즐거운 추억을 남길 수 있었고, 배운 것도 많이 있었습니다. 이 경험을 살려 일간의 교류를 계속해 나가고 싶다.</p>
<p>2023年11月7日 (Instagram)</p> <p>今日は城南外国語高校へ行きました。韓国の高校生と交流をしてとても楽しかったです。日本と韓国の様々な話をし、日本に興味を持ってきている人が多いと感じました。別れがとても寂しかったです。連絡先も交換し、今後もコミュニケーションを取りたいです。日本に来てもらい、交流を続けたいです。</p>	<p>2023年11月11日 (Instagram)</p> <p>11月5日から11月11日までの訪韓で、様々なことを体験することができました。楽しい思い出を作ることもでき、多くのことを学びました。この経験を活かして、日韓間の交流を続けていきたいです。</p>

6. 報告会での訪韓成果とアクション・プラン発表 (訪問地：ソウル特別市、京畿道、忠清北道)

 <p>アクション・プラン-3ヶ月以内の行動計画-</p> <p>【11月】 まずは韓国語に慣れ、留学生とコミュニケーションセンターにて意見交換！「何を思った？」「何を学んだ？」「何を思った？」「何を学んだ？」</p> <p>【12月】 立命館守山中学校・高等学校ユネスコ委員会が運営している立守ランソウに出席！11月の意見交換をもとに、自分たちの学べる学校内だけに広めます！同時にYouTubeチャンネルを通して自分たちの今回の活動を報告します。</p> <p>【1月】 訪韓前から準備を進めてきた*GLフェスタが開催されます。訪韓を含め、自分たちのこの一年間の学びをワークショップという形で還元し、地域の方々にも楽しく学んでもらう機会を提供します！*GLフェスタは、先述あり*...、さまざまな国で世界を知って交えていく機会を創出します。</p> <p>*GLフェスタとは、立命館大学附属高等学校の生徒たちが別荘にある、学びの場として、個人グループで行って来た研究発表を地域に還元していく行事です。</p>	<h3>2. アクションプラン</h3> <p>(帰国後3ヶ月以内の行動計画)</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 「ホームページに掲載」 訪韓の様子を本校のホームページに掲載し多くの人に知ってもらおう。 URL: https://www.tuins-h.ed.jp/topics/jenesis2023-韓国訪問団に本校生徒参加！/ 2. 「学校新聞で報告」 訪韓の成果を学校新聞の記事にし、配布し報告する。 3. 「SNS投稿」 訪韓後の成果をSNSで発信し、多くの人に研修の成果を伝える。 4. 「報告冊子の作成」 参加者全員の訪韓の成果を1冊の冊子にまとめ、全てのクラス、教職員、中学校関係者等に配布する。 5. 「YouTube 動画の作成、配信」 成果報告の動画を制作し、学校のホームページから配信する。 6. 「清明高等学校などの韓国の高校と連携」 姉妹校、協力校、などの提携をすすめる。
<p>【訪韓中の学び】</p> <p>国同士の偏見ではなく、個々の良さを見ることで友情が生まれ、それが日韓関係を良くしていくことに繋がっていくことを学びました。競争相手な</p>	<p>【訪韓中の学び】</p> <p>高校生などの私たちのような若い世代が、異国の文化や歴史・経済を学び自国との共通点や相違点を理解し、自分なりの他国との関わり方の</p>

<p>どと敵対するのではなく、お互いの魅力や良さをさらに発揮できるように繋がり合うことが必要だと感じました。</p> <p>【テーマに関する訪韓中の発表】</p> <p>訪韓団での交流を通じて、教科書では語られない韓国の歴史や現在の日韓関係について学ぶことができました。また日本と韓国はそれぞれ異なる良い点があるため、両国がうまく連携することができれば、ライバルではなく多くの利益を生み出すパートナーになれると感じました。また、実際に現在韓国に留学している訪韓団 0B の話を聞くことができ、日韓関係についてさらに興味を持ち始めたほか、自分自身がその発展に貢献できる人材になりたいと思うようになりました。</p> <p>【アクション・プラン】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・帰国後に意見交換会を開き、その内容をラジオや YouTube チャンネルにて発信する。 ・1月に予定している学校行事にて、地域の方々にも楽しく学んでもらえるようワークショップを実施する。 ・韓国との繋がりを絶やさないために、出会った人たちとの交流を続けていく。 	<p>意見を持つことが大切ということ学びました。</p> <p>【テーマに関する訪韓中の発表】</p> <p>学校訪問を通して、韓国の高校では日本語が学べる選択授業があり、多くの生徒と日本語で意思疎通が可能だったほか、韓国側の生徒一人ひとりが私たち日本人に興味を示してくれ、たくさんの方が話しかけてきてくれました。私たちは、このような小さなコミュニティが将来の架け橋になるのではないかと考えました。現状を大きく変えることは難しいと思いますが、高校生同士の立場から新しい関係性を築いていくことはできるため、これから彼らとの関係を深められるように努力していきたいと思えます。</p> <p>【アクション・プラン】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・訪韓団で経験したことを学校新聞の記事にして配布・報告する。 ・訪韓団の動画を作成し、学校ホームページから配信する。 ・今回交流した学校との姉妹校・協力校等の提携を進める。
---	---

実施団体名：公益財団法人日韓文化交流基金